

唐津市中心市街地地区

(佐賀県唐津市)

- 計画期間 平成20年度～平成24年度
- 面積 190ha
- 交付対象事業費 2,728.7百万円
- 市人口 130,087人 (地区内人口 8,389人)

ポイント

歩きたくなる街なか、住みたくなる街なか、
観たくなる街なかの再生

地区概要

市の玄関口であるバスセンター、JR唐津駅を中心に、官公庁や医療・福祉施設、商店街などの多くの都市機能が集積する中心市街地において、交通・住環境の充実、市民交流の拠点づくり、観光資源の活用によるまちづくりを推進する。

目標

- 目標1：公共施設のユニバーサルデザイン化や街路等の整備改善による交通環境の向上及び歩行者の快適性の向上
- 目標2：大型空き店舗再生を核として、市民生活拠点及び交流拠点としての役割を高め、にぎわいを再生
- 目標3：まちなかに点在する観光資源の魅力を高め、観光客をまちなかに誘導することにより、地域の活性化を図る

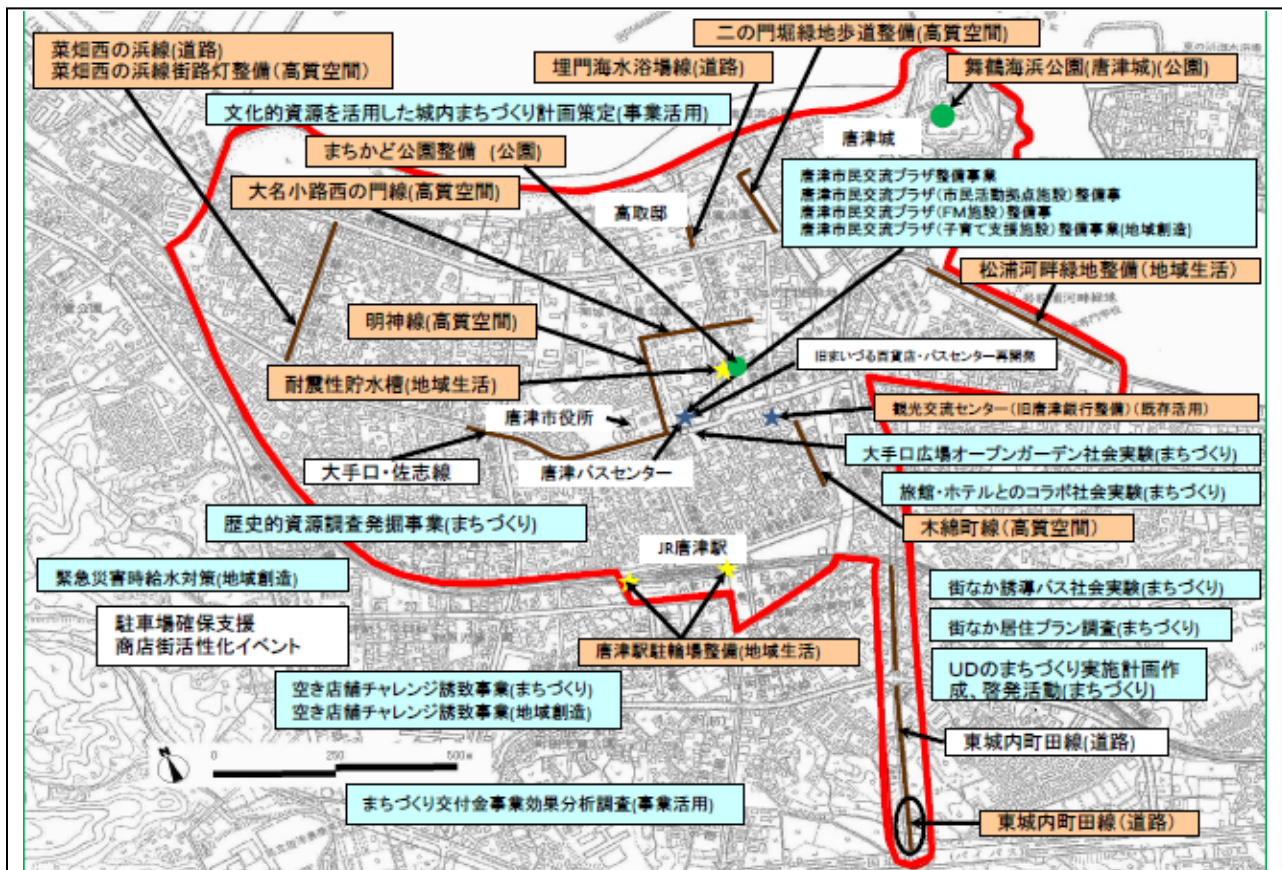
指標

公共公益施設の整備により中心市街地の居住人口及び観光客をはじめとする交流人口の増加を目標とした。

唐津市中央商店街通行量	8,423人 (H19)	→	9,600人 (H24)
街なかエリア居住人口	1,758人 (H19)	→	1,850人 (H24)
観光文化施設入場者数	111,449人 (H18)	→	131,000人 (H24)

事業内容

- 基幹事業 (2,200百万円) → 道路 (3路線 延長679m)、公園 (2箇所 面積3,239㎡)、地域生活基盤施設【河畔緑地整備 (延長500m)、駐輪場整備 (2箇所)、耐震性貯水槽整備 (60t)】、高質空間形成施設【カラー舗装 (延長180m)、歩車道段差解消 (2路線、延長552m)、歩道整備 (延長200m)、街路灯整備 (20基)】、既存建造物活用【観光交流センター (面積968㎡)】
- 提案事業 (528.7百万円) → 地域創造支援事業【唐津市民交流プラザ整備事業外5事業】、事業活用調査【文化的資源を活用した城内まちづくり計画策定外1事業】、まちづくり活動推進事業【空き店舗チャレンジ誘致事業外6事業】



地区の現況と課題

当地区にはJR唐津駅やバスセンターが立地しており、市域における交通の結節点となっている。また、官公庁や医療・福祉、商業施設など多くの都市機能が集積しているほか、唐津城や旧唐津銀行など歴史的・文化的な観光資源が数多く点在している。

しかし、当地区は、近年の少子高齢化、商業施設の郊外立地等の影響を受けて居住人口、歩行者数とも減少しているため、エリア内に点在する観光資源の魅力を高め、観光客をはじめとする交流人口の創出により、まちなかの賑わいづくり、活性化を図る必要がある。

提案事業の特徴

唐津市民交流プラザ整備事業

まちなかにおける賑わい創出のため、市民活動及び文化活動の拠点として唐津市民交流プラザを整備した。（プラザの床取得）

また、同プラザ内に市民活動育成支援のための「市民活動拠点施設」、市民活動に関する情報発信を行う「FM施設」、子育て世代をサポートする「子育て支援施設」を設置し、多くの市民がまちづくりに参加できるような施設整備を行った。

大手口広場オープンガーデン社会実験

まちの賑わい創出のため、中心市街地の中でも中心部にあるバスセンター前の大手口広場（市道）の交通規制を定期的に行い、休憩スペースとして開放するとともに、周辺の飲食店等による出店や物販を含めたオープンカフェの可能性の検証を行った。

計画策定プロセス

唐津市まちなか再生推進グループの活動

平成 18 年 6 月に中心市街地の事業者、経済団体、NPO、地域代表などで構成する「唐津市まちなか再生推進グループ」が発足。月 1 回会議が開催されており、中心市街地における課題解決やイベント実施等、さまざまな取り組みを官民連携により進めている。

唐津市 坂井俊之市長のコメント

唐津市中心市街地地区は、唐津城下を中心に発展してきた地区で、歴史的・文化的な佇まいが色濃く残っており、本市最大の祭り「唐津くんち」が繰り広げられるなど、古くから市域の顔として親しまれていますが、近年の少子高齢化、商業施設の郊外立地による市街地の空洞化は、持続的な都市の発展を目指す上で大きな課題であり、その解決策としてコンパクトなまちづくりを進めるためにまちづくり交付金を活用し、ソフト、ハードのプロジェクトを有機的に結び付け、事業を展開しています。

平成 22 年には当地区に早稲田大学系属の早稲田佐賀中学校・高等学校が開校しました。教職員の居住促進をはじめ、附設寮の学生と地域との交流を積極的に行うことでも、中心市街地地区の居住人口、交流人口の増加を目指しています。

唐津市まちなか再生推進グループ 大塚康泰会長のコメント

唐津市まちなか再生推進グループは、平成 18 年 6 月の発足以降、中心市街地の活性化のため、まちなかマップの作成や物産市の開催、空き店舗対策などに取り組んできました。

当該計画においては、まちづくり交付金を活用し、道路や公園がきれいに整備され、旧唐津銀行や唐津市民交流プラザがオープンするなど具体的な計画が進められており、ここ数年でまちなかは大きく変化しており頼もしく感じています。

当グループにおいても、これらの資源を活用し、今後もまちなかの活性化に向けて取り組んでいきたいと思っております。



▲菜畑西の浜線道路改良（道路）



▲松浦河畔緑地整備（地域生活基盤施設）



▲観光交流センター（旧唐津銀行整備）



▲唐津市民交流プラザ（市民活動拠点施設）



▲大手口広場オープンガーデン社会実験